

サッカーチャレンジルール説明

2017年9月10日

さいたま市青少年宇宙科学館

埼玉ブロックでのルールの基本方針

- 現時点では2017国際ルールを基本とします。
- ビギナーリーグは、2017年ジャパンオープンのルールを基本とします。
- ジャパンオープンのルールが発表された場合、ジャパンオープンのルールに準じます。
- 大会の都合上、ローカルルールが適応されます。
- ローカルルールは大会前に発表します。

ワールドリーグについて

これまでのルールからの変更点①

試合進行について

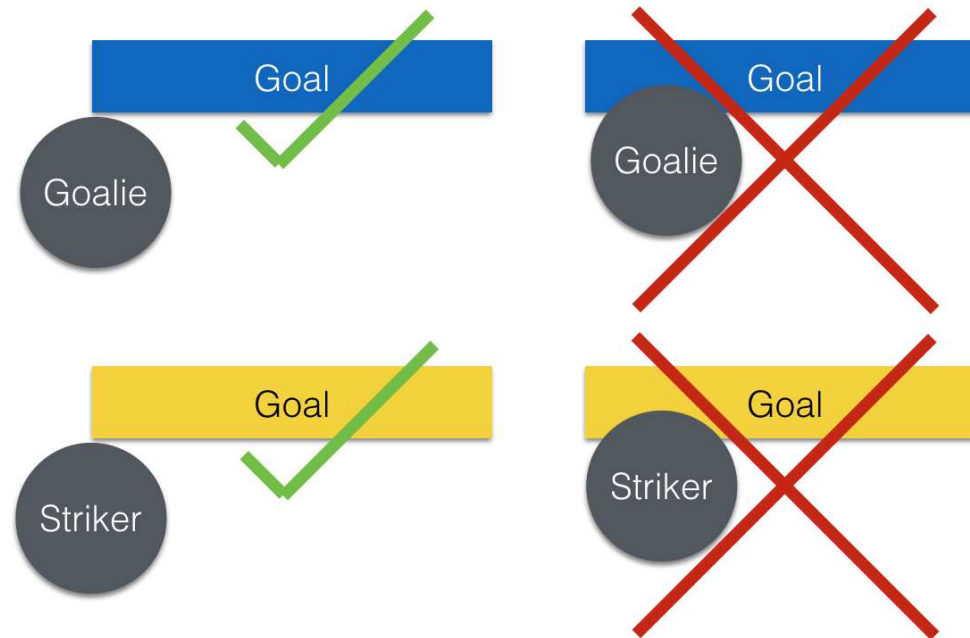
- 試合の遅刻すると、30秒で1点のペナルティーを受けます。(今までは1分ごと)
- 得点差が10点となった場合は、そのタイミングで試合を終了します。

これまでのルールからの変更点② ロボットが故障したとき

- ロボットが2台とも故障したとき、残っているチームに30秒ごとに1点が与えられます。
- 得点差が10点以上となるか、試合時間が無くなると、2台とも故障しているチームが負けとなります。

これまでのルールからの変更点③ ゴールエリアへの侵入について

- ロボットが20秒間で3回、ゴールに侵入した場合故障となります。



これまでのルールからの変更点④

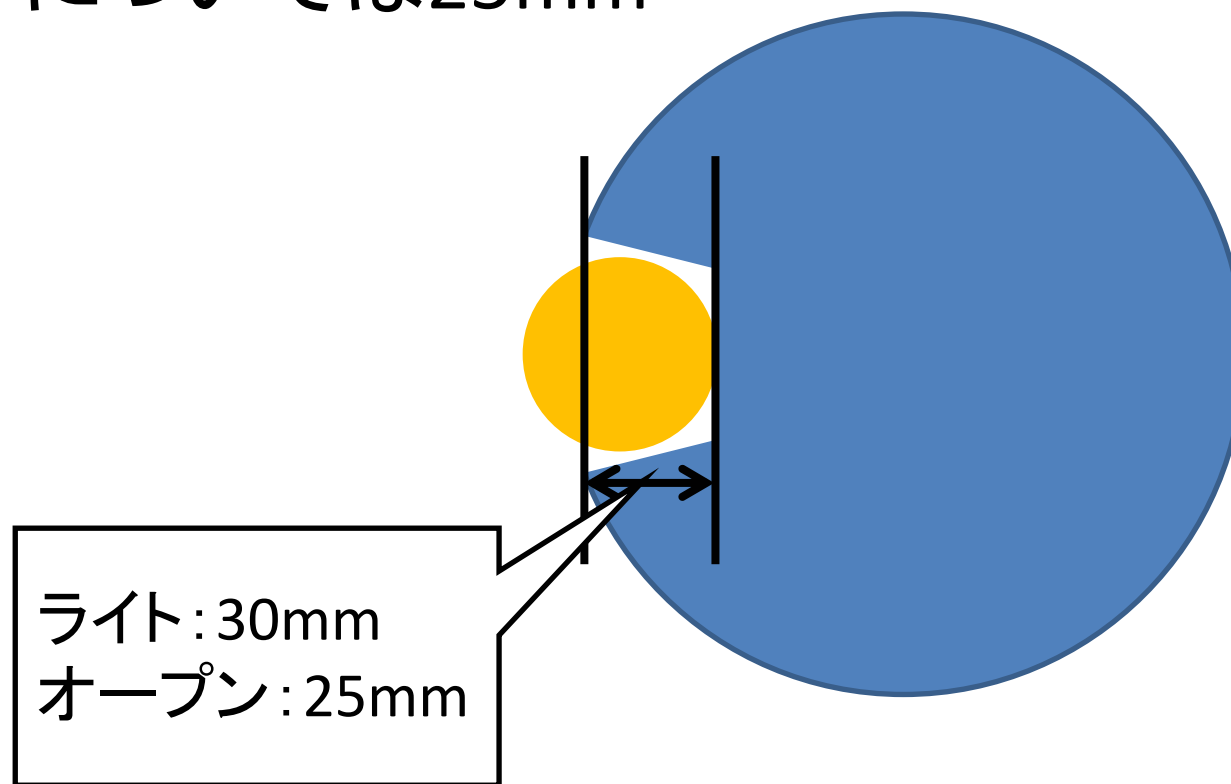
トップマーカ―

- ロボットの上部にはトップマーカ―と呼ばれる直径40ミリ以上の白色のプラスチックの板を水平に取り付ける必要があります。
- トップマーカ―がないロボットは試合に出ることができません。

これまでのルールからの変更点⑤

ボール補足エリア

- ライトウェイトについては30mm(変更なし)
- オープンについては25mm



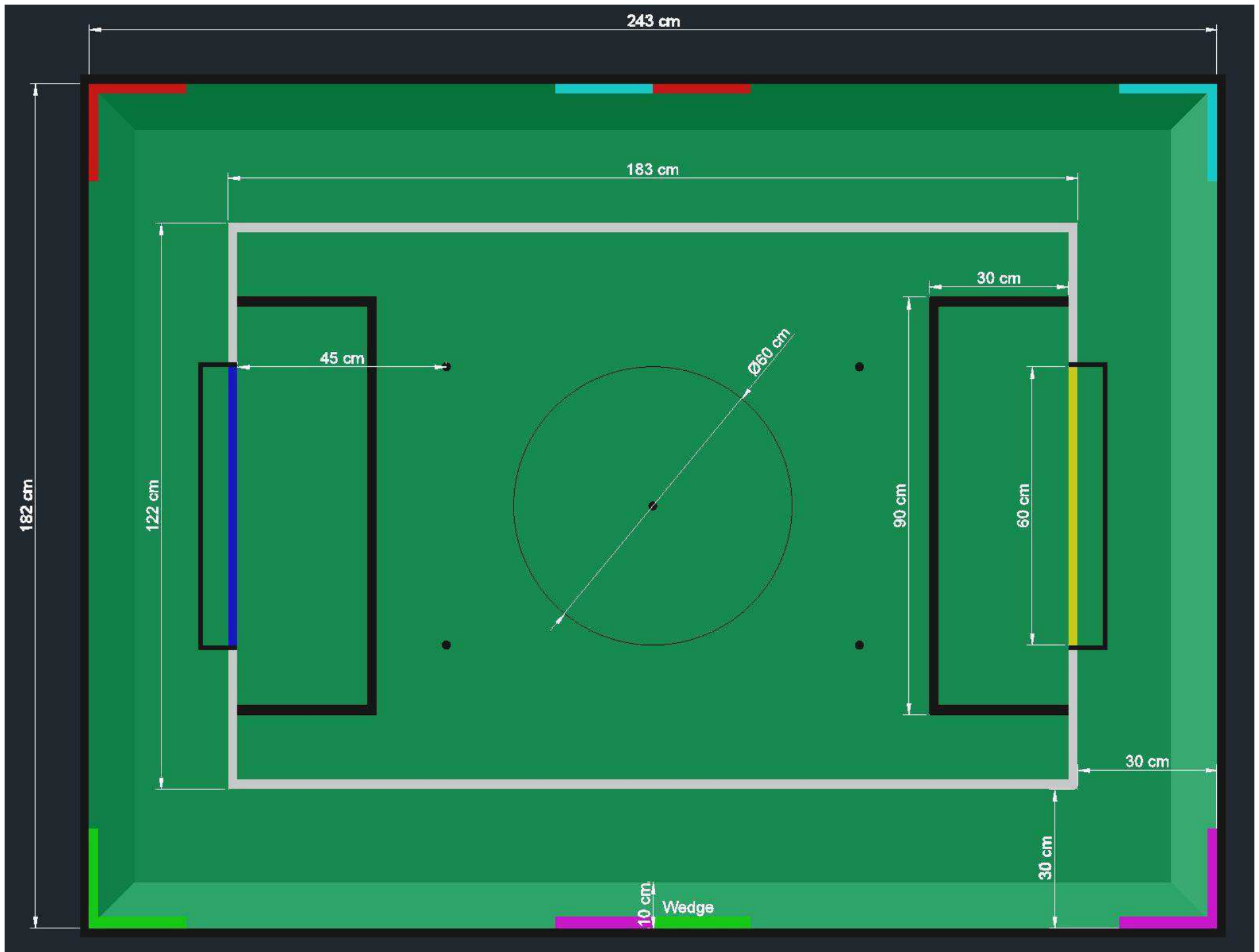
これまでのルールからの変更点⑦ カメラの搭載について

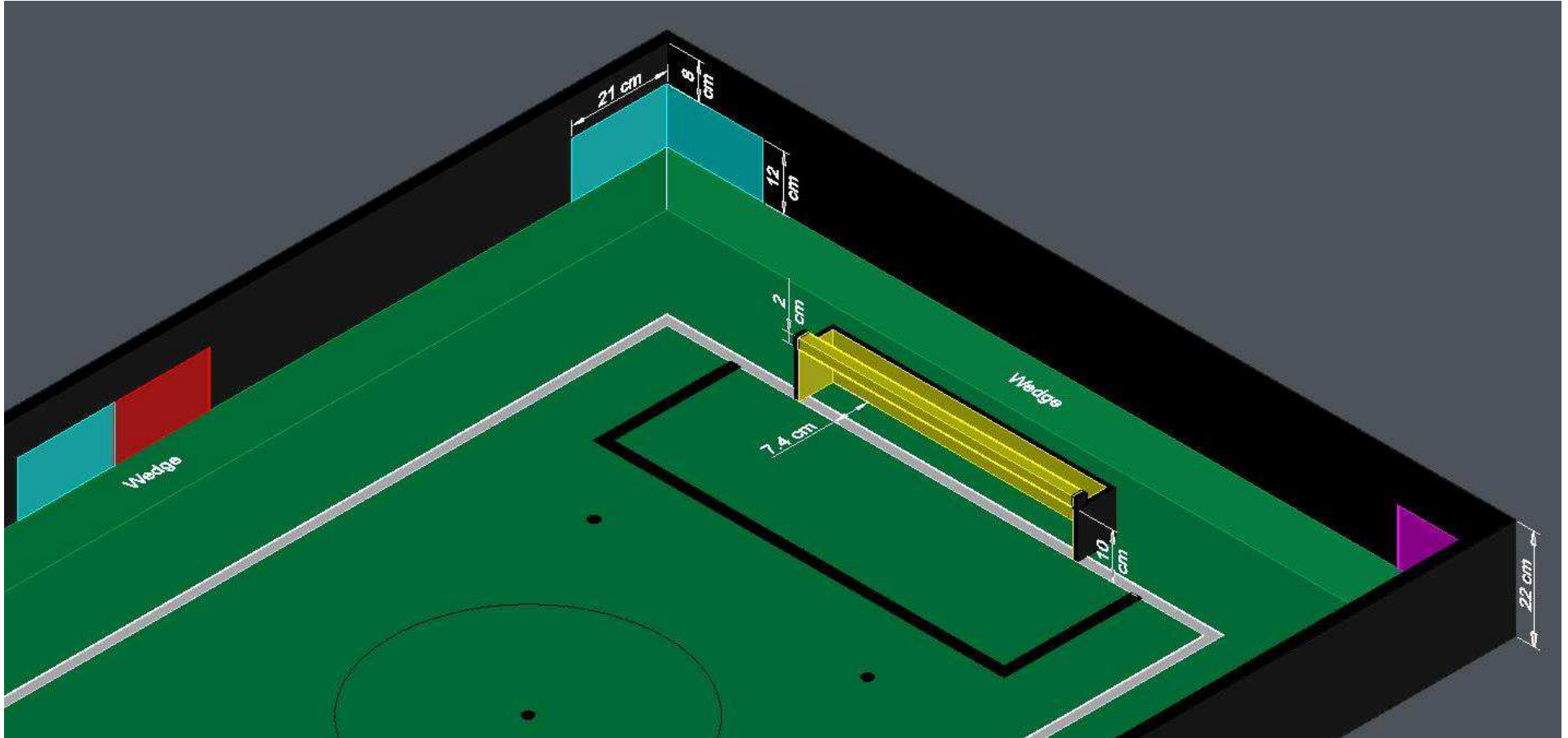
- 1台のロボットには1台のカメラしか搭載できません。
- 市販のオムニディレクショナルカメラやレンズを使用することはできません。

※詳細は公式ルールで確認してください。

これまでのルールからの変更点⑧ フィールドについて

- 外壁から幅100mmの床は、外壁に向かって高さ20mmの斜面になっています。(これまで10mm)
- 壁の高さは220mmです。(これまで140mm)
- 壁の各所にはカラーランドマークが設置されます。(高さ12cm、幅21cm)





これまでのルールからの変更点⑨

ボールについて

- ライトウェイト

これまでの赤外線発光ボール(パルス発光)

- オープン

オレンジボールを採用

直径65±5mm

重量は60g以上80g以下

